

THE NATIONAL FOLK
PERFORMING ARTS
FESTIVAL 2026

第73回

全国

民俗芸能大会

本海獅子舞番楽(秋田県)

菊名の館屋踊り(神奈川県)

大和佐美命神社麒麟獅子舞(鳥取県)

越前万歳(福井県)

2026年

11
◇
28

[土]

【開演】13:00~19:00(開場12:00)※全席自由・途中入退場自由

【会場】日本青年館ホール(東京・神宮外苑)



購入サイト

【ネット購入券】1,500円／学生無料(要申し込み) 【当日券】2,000円(当日12時より会場受付で販売)

※11月28日19時まで販売。購入サイトteketよりご購入いただき、お支払い後に発行されるQRコードをスマホ画面か紙に印刷して会場受付にてご提示ください。学生の方もteketで購入し、会場受付にて学生証をご提示ください。

<https://teket.jp/1458/72325>



令和8年度文化庁補助事業

主催：一般財団法人日本青年館／全国民俗芸能保存振興市町村連盟 後援：新宿区



菊名の飴屋踊り



大和佐美命神社
麒麟獅子舞



越前万歳



本海獅子舞番楽

SCHEDULE

12:00……………開場
13:00～13:30…開会式・表彰
13:30～14:20…菊名の飴屋踊り
14:20～15:20…大和佐美命神社麒麟獅子舞
〈休憩〉
15:40～16:30…越前万歳
16:30～19:00…本海獅子舞番楽 ※途中休憩あり

ACCESS



◎会場

日本青年館ホール

〒160-0013
東京都新宿区麩ヶ丘町4-1

◎交通案内

東京メトロ銀座線：外苑前駅2b出口 徒歩5分
都営大江戸線：国立競技場駅A2出口 徒歩10分
JR中央・総武線：千駄ヶ谷駅／信濃町駅 徒歩12分

◎お問い合わせ先(日本青年館公益事業部)

TEL 03-6452-9012 / FAX 03-6452-9026
E-mail koueki@nippon-seinenkan.or.jp



Instagram



Facebook

PROGRAM

◎菊名の飴屋踊り(きくなのあめやおどり)

菊名あめや踊り保存会(神奈川県三浦市)

菊名の飴屋踊りは、毎年10月23日の白山神社の祭礼に奉納されます。関東平野の農村部で広く娯楽として親しまれた万作、粉屋踊り、小念仏、おしゃらく等と呼ばれた芸能と同系統のもので、三浦半島一帯では飴屋踊りの名称が一般的です。平成元(1989)年を最後にしばらく中断していたものを、平成20(2008)年に地元の女性たちが小学校のPTA活動をきっかけに復活させました。現在は小中学生も多数参加し、菊名出身以外や新住民も巻き込み新しい継承の形が根付いています。(神奈川県指定無形民俗文化財)

◎大和佐美命神社麒麟獅子舞(おおわさみのみことじんじゃきりんししまい)

大和佐美命神社獅子舞保存会・大和佐美命神社大湯棚獅子保存会
(鳥取県鳥取市)

鳥取県東部から兵庫県北部にかけて、神話上の霊獣麒麟をモチーフとした麒麟獅子舞が百数十か所に伝承されており、全体が国の重要無形民俗文化財に指定されています。今回は鳥取市の大和佐美命神社祭礼で演じられる2地区が出演。最初に雌獅子の上砂見(かみすなみ)地区が、麒麟獅子舞では珍しい剣の舞と本舞を、次いで雄獅子の大湯棚(おおゆだな)地区が江戸中期の獅子頭で本舞を舞います。

◎越前万歳(えちぜんまんざい)

越前万歳保存会(福井県越前市)

福井県越前市味真野(あじまの)に伝わる越前万歳は近世から戦後まもなくまで北陸の初春を寿ぐ祝福芸として広く親しまれてきました。

扇を持つ太夫と弓太鼓と呼ばれる独特の摺り太鼓を操る才蔵の掛け合いを中心に、演目によって合間にチャリと呼ばれる即興的な会話が入り、観客の笑いを誘います。「舞い込み御家万歳」「ことぶき」「七福神」などの演目が伝承され、現在、1月1日の味真野神社の初舞をはじめ、地域のイベントを中心に活動。地元の小学校で指導を行うなど、精力的な継承活動が続けられています。(国指定重要無形民俗文化財)

◎本海獅子舞番楽(ほんかいししまいばんがく)

本海獅子舞番楽猿倉講中(秋田県由利本荘市)

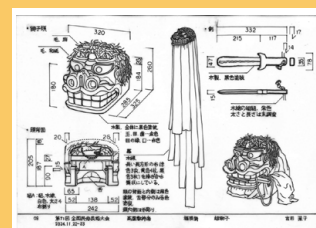
本公演の最後を飾るのは、本海獅子舞番楽猿倉講中です。本海舞という近年上演できなくなった舞の復活に挑戦中で、公演ではその舞を含めさまざまな演目を披露していただきます。解説も交え、より深く鑑賞していただけるプログラムを用意いたします。どうぞお楽しみください。

本海獅子舞番楽は、秋田県由利本荘市鳥海町に伝わる神楽です。江戸時代に本海行人という修験者によって伝えられたと言われています。昭和17(1942)年に刊行された民俗芸能研究者本田安次氏の名著『山伏神楽・番楽』の書名にも掲げられているように、早池峰(はやちね)神楽など岩手県の神楽に対し、秋田県には番楽があることが示されており、民俗芸能では比較的早い頃から知られていました。なお、平成23(2011)年には国の重要無形民俗文化財に指定されています。本海獅子舞番楽は13講中(保存会)で構成されており、猿倉講中はその中でも近年めざましい活躍を見せる講中です。

本海獅子舞番楽は、祈祷の要素を色濃く残す獅子舞から始まり、数々の演目が舞われ、やさぎ獅子で締め括ります。東北の神楽と共通する演目も多いですが、足を高く上げる軽快な足運び、テンポのよいお囃子などにその特徴が見られます。猿倉講中は子どもたちへの継承に力を入れており、子どもたちの舞もご覧いただけます。

【特別企画】スケッチ記録展(会場：ホールホワイエ)

全国民俗芸能大会では、映像記録だけでなく、音楽記録やスケッチ記録にも取り組んできました。今回は、第71回大会のスケッチ記録を公開します。衣装や道具類を採寸し、場合によっては展開図を作成、サイズなどを綿密に記録してきたスケッチは、「記録」の域にとどまらないアート作品でもあります。休憩時間などにどうぞお立ち寄りください。



地域で演じられている
そのままの姿を舞台に。